

■ 栄光サッカークリニック(第1回実施レポート)

◇日時:2019年8月30日(金)17:30~20:00

◇場所:栄光アロイジオ会館1階会議室

◇参加:柴野先生、北川先生、出口先生、小林先生、千野コーチ、高橋

◇内容:趣旨説明およびフリートーク

(1) 趣旨説明

- ・「栄光サッカークリニック始動」に沿って説明(添付PPTスライド)
- ・勝てるようになるための外部専門による技術的支援
- ・フィットネス、技術、戦術、メンタルの広い分野をカバー
- ・指導者育成支援も必要に応じてアドバイス
- ・座学によるアドバイス、グラウンド上での教え方アドバイスおよび実技デモ
- ・課題を洗い出し、中間評価と修正を積み上げる
- ・成果を出すための観察技術や分析方法の導入提案(練習記録の保管、ハイテク、等)

の現状把握

- ・高校Aは、夏の大会に一回戦敗退だったので、早めに高3が引退し、秋からの新チーム結成に向けて調整中
- ・高校Bは、高校C(中3を含む)との調整中
- ・中学(約50名)は、中3が高校Cに合流したので、中1・中2で今後どのように練習計画を作成すれば良いか模索中

(3) 練習ポイントなどのフリートーク

- ・課題が見えていても、それを克服する練習方法までたどり着けない。
- ・高校A、Bチームは、およそ新レギュラーメンバーとサブの当たりがわかるので、むしろほとんどの生徒がズブの素人(初心者)である中学からの積み上げにアドバイス欲しい。

(4) 千野コーチから

- ・いきなりアドバイスはできないので、観察期間が必要
- ・時短の一つに試合などの撮影ビデオを見ると早いですが、試合会場(現場)にも出向く予定。
- ・早く課題を洗い出そう。
 - > 守備のシステムフォーメーションの練習方法などの前に、ボールを受ける際のフェイント動作、マークする相手との距離、身体の使い方などどれも基礎技術だが、基礎から点検する方が早いかも。
 - > フィットネストレーニングと技術・戦術トレーニングのバランスも課題。

(5) 今後の運営に関して

- ・秋の公式戦(新人戦)の始まりが10月末くらいなので、それまでにチーム観察をして特長を把握して第2回クリニックにしたい。
- ・課題を洗い出す

(6)事務局から

・千野コーチの話は、(今となっては多少古いが)読売クラブの選手やその後全日本選抜に選ばれる自分の教え子達などとの体験を具体的に話しているので、受け入れられ易く、自分達とは別格のベテランコーチだと認識されたように見える。

- ・顧問達も全員メモを取りながら、自分の担当チームの問題点や課題を質問していた。
- ・このまま座学と実技をシームレスに実施して実績を重ねるのが良さそう。
- ・実技デモの時などに千野コーチ配下の若手コーチを帯同する事もできそう。
- ・顧問が情報共有できる機会になれる事が良かった。
- ・必然的に中学からの積み上げ対策が必要という事になって来たので良い傾向。
- ・顧問達の一体感が各チームの選手の参加意識と一体感を呼ぶと思う。
- ・練習は、高品質な指導で楽しい練習を引き出せるようにしたい。

~~~~~

以上